



内科系総合誌

# 診断と治療

Diagnosis and Treatment

媒体資料

2024年11月

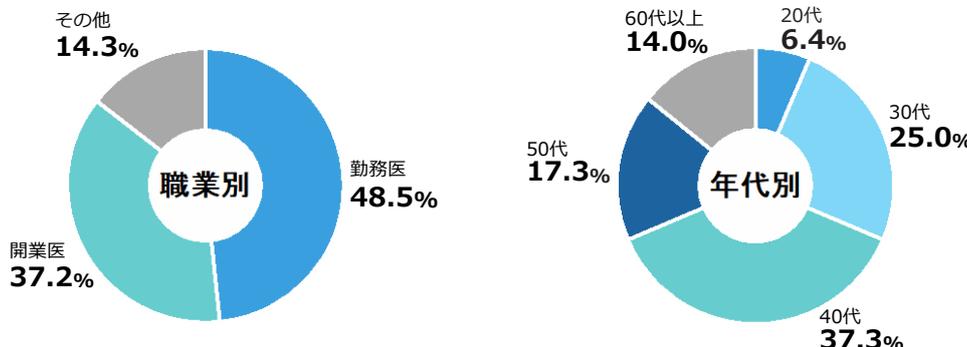
最新の医学情報を最高の執筆陣でお届けする、  
内科総合誌のパイオニア

適度なボリューム感ながら、読み応えも抜群  
内科医としての“総合力”をブラッシュアップ！

|                |  |
|----------------|--|
| 発行所            | 株式会社診断と治療社   |
| 所在地            | 〒100-0014 東京都千代田区永田町2-14-2 山王グランドビル4階  |
| 発行日            | 毎月5日発行・年13冊 [通常号12冊, 増刊号1冊 (3月)]   |
| 創刊年            | 1914年  |
| 体裁             | 判型：B5判 本文：約140頁・2色刷  |
| 発行部数           | 10,300部  |
| 定価             | 2,700円 (本体)  |
| 編集委員<br>(五十音順) | 阿古潤哉 (北里大学医学部循環器内科学教室)<br>岩部真人 (日本医科大学大学院医学研究科内分泌代謝・腎臓内科学分野)<br>鋪野紀好 (千葉大学大学院医学研究院地域医療教育学)<br>土屋輝一郎 (筑波大学医学医療系消化器内科) |

- 2014年に創刊100年を迎えた、内科総合誌のパイオニアです。
- 気鋭の編集委員が選りすぐった、各分野の一流執筆陣による読み応え抜群の内容です。
- 本文は読みやすい2色刷りで図表も満載、視覚的に理解できる誌面です。

## 読者対象別分布



## 出広のメリット

- 内科総合誌であるため、臓器横断的に幅広い特集テーマを組むこともでき、出広しやすい媒体です。
- 記事中の出広が可能であり、指定論文対向など、関連項目(執筆者等)とリンクさせれば、より強い印象を与られます。
- 創刊以来、開業医の支持が高く、ダイレクトに医療情報を医師に訴求できます。
- 内科を広くカバーできる4名の編集委員により特集テーマ等が組まれており、たいへん安心いただける医学雑誌です。



# 座談会（鼎談，対談，インタビュー）

## 高血圧合併の高尿酸血症に対する臨床的アプローチ ～2つのガイドライン構築に基づく考察～

高血圧と高尿酸血症は、ともに生活習慣病として知られる疾患です。近年、高血圧と高尿酸血症の合併症が増加していることが報告されています。本記事では、高血圧と高尿酸血症の合併症に対する臨床的アプローチについて、2つのガイドライン構築に基づいて考察します。

**高血圧と高尿酸血症の合併症**

高血圧と高尿酸血症は、ともに生活習慣病として知られる疾患です。近年、高血圧と高尿酸血症の合併症が増加していることが報告されています。本記事では、高血圧と高尿酸血症の合併症に対する臨床的アプローチについて、2つのガイドライン構築に基づいて考察します。

**高血圧と高尿酸血症の合併症**

高血圧と高尿酸血症は、ともに生活習慣病として知られる疾患です。近年、高血圧と高尿酸血症の合併症が増加していることが報告されています。本記事では、高血圧と高尿酸血症の合併症に対する臨床的アプローチについて、2つのガイドライン構築に基づいて考察します。

## 本邦における低尿酸の実態とこれからの栄養管理のありか

本邦における低尿酸の実態とこれからの栄養管理のありかについて、最新の調査結果を基に考察します。低尿酸は、高尿酸血症の対症療法として知られる疾患です。近年、低尿酸の有病率が増加していることが報告されています。本記事では、低尿酸の実態とこれからの栄養管理のありかについて、最新の調査結果を基に考察します。

**低尿酸の実態**

本邦における低尿酸の実態とこれからの栄養管理のありかについて、最新の調査結果を基に考察します。低尿酸は、高尿酸血症の対症療法として知られる疾患です。近年、低尿酸の有病率が増加していることが報告されています。本記事では、低尿酸の実態とこれからの栄養管理のありかについて、最新の調査結果を基に考察します。

## 高血圧合併の高尿酸血症

高血圧と高尿酸血症は、ともに生活習慣病として知られる疾患です。近年、高血圧と高尿酸血症の合併症が増加していることが報告されています。本記事では、高血圧と高尿酸血症の合併症に対する臨床的アプローチについて、2つのガイドライン構築に基づいて考察します。

**高血圧と高尿酸血症の合併症**

高血圧と高尿酸血症は、ともに生活習慣病として知られる疾患です。近年、高血圧と高尿酸血症の合併症が増加していることが報告されています。本記事では、高血圧と高尿酸血症の合併症に対する臨床的アプローチについて、2つのガイドライン構築に基づいて考察します。

**高血圧と高尿酸血症の合併症**

高血圧と高尿酸血症は、ともに生活習慣病として知られる疾患です。近年、高血圧と高尿酸血症の合併症が増加していることが報告されています。本記事では、高血圧と高尿酸血症の合併症に対する臨床的アプローチについて、2つのガイドライン構築に基づいて考察します。

## 低尿酸の疫学と臨床的意義

低尿酸は、高尿酸血症の対症療法として知られる疾患です。近年、低尿酸の有病率が増加していることが報告されています。本記事では、低尿酸の疫学と臨床的意義について、最新の調査結果を基に考察します。

**低尿酸の疫学**

低尿酸は、高尿酸血症の対症療法として知られる疾患です。近年、低尿酸の有病率が増加していることが報告されています。本記事では、低尿酸の疫学と臨床的意義について、最新の調査結果を基に考察します。

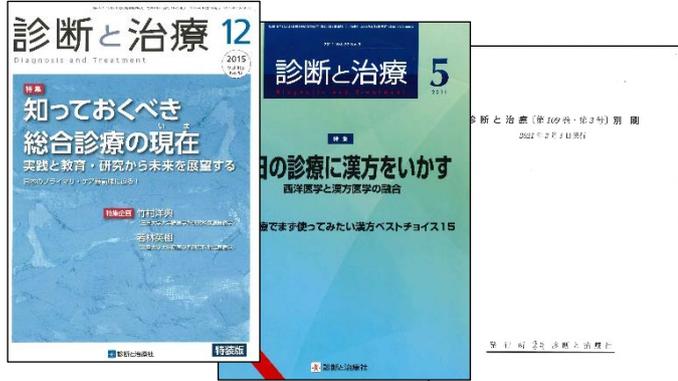
**低尿酸の臨床的意義**

低尿酸は、高尿酸血症の対症療法として知られる疾患です。近年、低尿酸の有病率が増加していることが報告されています。本記事では、低尿酸の疫学と臨床的意義について、最新の調査結果を基に考察します。

- 多彩なテーマの座談会（鼎談，対談，インタビューなど）を掲載可能です。
- 企画段階から掲載まで、ご要望に応じて様々な対応が可能です（出席者対応，収録，文字起こし，写真撮影など）（オンラインでの収録にも対応しています）。
- 著名・気鋭の出席者による話言葉での解説と、わかりやすい図表の掲載で、より読まれやすい形式です。
- 別刷は多彩な場面でお使いいただけます。

**基本掲載料：2色1頁20万円，4色1頁30万円（税別）**  
 日程調整や会場の手配，原稿整理，組版，校正を編集部にて行います。収録は45～60分が標準です。  
 （会場費，撮影・録音，文字起こし，図表の引用転載料などの諸経費，出席者への謝礼は含まれておりません）

## 別刷・別冊



- 論文，座談会（鼎談，対談，インタビューなど）だけを印刷した別刷を作成しています。
- 特集論文をすべてまとめた，雑誌の表紙を使用した別冊なども作成可能です。
- 別刷には本誌掲載時にはなかった広告も追加で掲載可能です。
- 表紙もご要望にお応えして作成可能です。

上記以外にも，記事広告，企画広告やミニ特集など，ご要望に応じて柔軟に対応をしております。

## 広告料金表

| 掲載場所 | 色  | スペース | 料金（税別）   |
|------|----|------|----------|
| 表紙2  | 1C | 1頁   | 117,000円 |
|      | 4C | 1頁   | 335,000円 |
| 表紙3  | 1C | 1頁   | 98,000円  |
|      | 4C | 1頁   | 280,000円 |
| 表紙4  | 1C | 1頁   | 173,000円 |
|      | 4C | 1頁   | 495,000円 |
| 目次下  | 1C | 1/3頁 | 58,000円  |
| 目次裏  | 1C | 1頁   | 115,000円 |
| 記事中  | 1C | 1/2頁 | 42,000円  |
|      | 1C | 1頁   | 77,000円  |
|      | 4C | 1頁   | 220,000円 |
| 綴 込  |    | 1枚   | 158,000円 |

## 申込・入稿について

|           |   |
|-----------|---|
| 広告申込締切    | 掲載号の前々月の24日（4月号掲載の場合→2月24日が申込締切）          |
| 広告原稿締切    | 掲載号の前々月の29日                               |
| 綴込申込締切    | 掲載号の前々月の28日                               |
| 発 行 日     | 当月5日（4月号→4月5日の発行）                         |
| 入 稿 形 式   | データ入稿（Illustrator, InDesign等）             |
| 広 告 サ イ ズ | 1頁（天地220mm×左右150mm） 1/2頁（天地105mm×左右150mm） |
| 綴 込 サ イ ズ | B5判（天地257mm×左右182mm）に裁ち代3mm以上ずつ追加         |

- 記事広告・企画広告料金は都度お見積り。
- 有料投稿，別刷作成，座談会開催などご要望に応じて柔軟に対応しております。

## お問い合わせ先

 **診断と治療社** 診断と治療編集部

TEL:03-3580-2750 FAX:03-3580-2776

E-mail:shindan\_magazine@shindan.co.jp